

1年英語通信②

Hello! How are you? 毎日2時間は英語の学習してますか? 「継続は力なり」学習ペースをうまく保ちながら学習を進めてくださいね。

英単語帳『LEAP』の音声ダウンロードはうまくできましたか? 本の最後のページに数研出版のホームページのURLと、学習アプリのQRコードが掲載されていますので、アクセスして取り込んでください。単語を覚えるにはまず音の確認から! 繰り返し音声を聞いてリピートしながら覚えていきましょう!!

【コミュニケーション英語Ⅰ】Lesson 1 Part 2 解答・解説

冊子を見ながら確認してください♪

【Listen】

1. (困った) (日常生活) (日常(よくいる)のキャラクター・人物)

【Intensive Reading】

★本文中につけた□は**従属接続詞**です。文と文をつなぐ言葉を**接続詞**といいます。従属接続詞はメインの文に**補足の文**を付ける時に使用します。

※従属接続詞のついた補足文の代表

when+文 ~する・している時に、

because+文 ~だから

if+文 もし~なら、

★Even **if**+文 たとえ~であっても、

⇒Breakthrough 第18章「接続詞」pp.527~538を参照

Breakthroughは
自宅学習の
心強いパートナー♪

長い一文でも、従属接続詞で2つに分けて読むと読みやすくなります。

1. Did you have any trouble **when** you performed in those foreign countries?

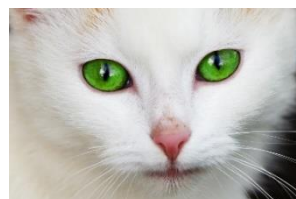
Did you have any trouble? と **when** you performed in those foreign countries
何か問題がありましたか? そういう外国で(落語を)演じた**時に**、

2. In New York, I had to sit on a table with only one leg **because** there was no stage.

In New York, I had to sit on a table with only one leg. と
because there was no stage.
NYでは、脚が1つしかないテーブルの上に座らなければなりません。舞台がなかった**から**

2* [名詞]+**with** ~: ~のついた[名詞]

(例) a cat **with** green eyes 緑の目の猫



⇔ [名詞]+without ~: ~の(ついていない)[名詞]

(例) a rose **without** a thorn

とげのないバラ (苦しみを伴わない歓楽を言い表す比喩表現)

2** had to (do) はいつ使う？

「～しなければならない」は” must (do)” と” have to (do)” の2つの表現があるが、「～しなければならない」と過去の話をする場合、must の過去形がないので、” had to (do)” を使う。

《発展》 ちなみに must と have to も実はニュアンスの違いがある！

(例) You must study hard.

You have to study hard.

話し手の**気持ちの違い**を Breakthrough で調べてみよう！

2*** I **had to** sit on a table with・・・ この1文はかい枝さんのニューヨークでの過去の経験を語っているので過去形ですね。では次の文、

The performer **must** sit higher than the audience in *rakugo*.

ここではなぜ現在形の must が使われているのでしょうか？

ただ、「今のことから」というだけではありません。現在形の表す意味について考えてみましょう。ヒントは Breakthrough pp.78-79 にあります。

3. 長めの文ですが、接続詞に注意して区切って理解しよう。

In Chicago, / シカゴで

when I said “Hello” **as** one of the characters, / 私が登場人物の一人として「ハロー」というと、
the audience thought / 観客たちは～と思った

that I was talking to them, / 私が彼らに対して話しかけている、と

and they said “Hello” **back** to me. そして、私に「ハロー」と言い返してきた。

※確認※

when は従属接続詞でしたね。

that も従属接続詞で、補足の文ではなく、thought の目的語としての文をつけるときに使います。

I think that this book is easy. の that ですね。しばしば省略されます。

⇒Breakthrough pp.522-523

and は**等位接続詞**といい、文と文をシンプルにつなげます。

★**等位接続詞**★

and, or, but, so, for, nor ⇒ Breakthrough pp.514~519

3* **前置詞**の **as** : 文+**as** [**名詞**] の形で 「～として・・・」

I said “Hello” **as** one of the characters,

私が 登場人物の一人として 「ハロー」と言うと、

(例) I worked as cook for her. 私は彼女の料理人として働いた。

As your family doctor, I advise you to eat less.

あなたのかかりつけ医として、食事量を減らすよう忠告します。

《発展》

regard/ think / see [名詞 A] as [名詞 B] の形になっている場合は「AをBとしてみなす・考える」という意味であり、**A=B** が成り立つ。

(例) I regard him **as** a friend of mine. 私は彼を友人と考える。

「彼」=「私の友人」

I see your behavior **as** a problem. 私はあなたの態度を問題だと考えています。

「あなたの態度」=「問題」

We accepted her **as** our leader. 私たちは彼女をリーダーとして受け入れた。

「彼女」=「リーダー」

3 * * 「~のうちのひとつ」: **one** of the **s** ← **複数形** になっていることに注目!

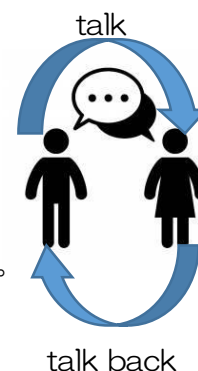
3 * * * they **said** “Hello” **back** to me.

“動詞+back” で「何かの行為をし返す」

(例) I will **write** you **back** soon. すぐに返事を書きます。

You should **pay back** your debts. 君は借金を返さなければならない。

She **hit** him **back**. 彼女は彼を殴り返した。



4. the performer looks **right and left** : 右や左を見る

※副詞としての right (右の方へ・で) / left (左の方へ・で)

(例) Please turn **right**. 右へ曲がって下さい。

4 * * * **to** perform different characters いろいろな登場人物を演じる**ために**

“[文]+to do” の形の場合、「目的・結果」などを表す。

⇒Breakthrough 第6章 不定詞 p.168 「動詞の形=伝えたい感覚」を参照

(例) Bob has started jogging **to** keep fit.

ボブは健康を維持するためにジョギングを始めた。

5. Is **it** difficult **for** people from foreign countries **to** understand the humor of *rakugo*?

外国人たちが 落語のユーモアを理解することは 難しいですか?

※**It is** <形容詞> **to do.** : do することは~だ。

It の内容=to do

←この do を誰がするのか(主語)を “**for ~**” で表す。

⇒Breakthrough pp.186~188 「不定詞の意味上の主語」

(例) It is dangerous **for beginners** to ski here.

初心者がここでスキーをするのは危険だ。

It is natural **for her** to say so.

彼女がそう言うのももっともだ。

6. Rakugo is **not** just short jokes **but** a story,
落語は 単なる短いジョークなのではなくて、 ひとつの物語なのです。

※**not A but B** : A ではなく、 B だ。

(例) He comes **not** from Mexico **but** from Brazil.

6 * ,and rakugo stories are **about** our everyday life and everyday characters.

そして落語の話は [私たちの日常生活 や 平凡な登場人物] について, です。

※**everyday** と **every day** の違いに気を付けよう! 辞書で確認してみてください。

1. The book is written in simple **everyday** language.

2. We eat sushi **every day**.

7. **Even if** we live in different countries and have different cultures,

例え, 違う国に住んで、異なる文化を持っていても、

human lifestyles are not so different.

これを言いたい!

人間の暮らしぶりは そんなに変わらないのです。

※Even if +文, :「たとえ~だとしても、たとえ~でも (仮の話)」

このあとに続く文を際立たせる役割がある。

(例) **Even if** you are in a hurry, **you must not violate traffic laws.**

たとえ急いでいても、 交通法規に違反してはいけません。

※**not so** (形容詞) : そんなに・それほど・あまり~ない

(例) Compared with his brother, he is **not so tall.**

兄と比べて、 彼はそんなに背が高くない。

【Challenge】

1. 広い庭付きの家に住みたいな。

I want to live in a house **with** a large [big] garden.

※[A] with [B] : B のある A

2. 地球温暖化は環境問題のひとつだ。

Global warming is **one of the** environmental problems.

※地球温暖化 : global warming

※環境問題 : the environmental problem

3. 日本人が英語のジョークを理解するのは難しいですか?

Is it difficult **for** Japanese people **to** understand English jokes?

※It is (形容詞) **for** (人) **to do** : (人)が **do** することは (形容詞) だ。

4. たとえお金があっても、私は車を買わない。

Even if I have (enough) money, I will not buy a car.

※enough をつけると「車を買えるだけの十分なお金」という意味になります。

本文の英文をしっかり理解できたら、
前回と同様に

①音声を聞いて理解できるかチェック！

②日本語訳を見て、()を埋めながら英文を言えるかチェック！

繰り返しやるうちにスラスラと言えるようになります。

我流の発音にならないよう、ときどき音声を聞き返して発音やイントネーションの確認も
してくださいね。

*Did you have any
trouble when you
performed in those
foreign countries?*

